

# こども寄席 レポート

5月11日 (土) 10:30~11:30  
さんびる文化センタープラバホール2F大会議室

文/宮森健次 撮影/佐野明美

上定松江市長が開演前に子どもたちと話がしたいということですが、という連絡が入ったのが前日。そして、テレビが2社、新聞が2社取材に来ていますが、と聞いたのが当日の朝。市立中央図書館主催となると、こんなに注目してもらえるのかと驚いた。司書さんたちは「いったい何人来られるかまったく分かりません。少なかつたらごめんなさい」と打合せの時に不安げだったのに、い

松江算数活塾落語教室9回目の出張落語会の様子をお伝えします。  
一人一人の高座の写真や落語については、ホームページに載せていきますので、ぜひご覧ください。※8ページのQRコードからも入れます。



← 本番前の子どもたちを激励する上定松江市長。

すると、いろいろな発見があつて、千の位に8が来るのは6つ・6こずつのリズムがある・5511000のように222のリズムがある・10と01が逆になつてゐる などなど、発見話を楽しそうに語るのでした。  
活ママ「それがよくおっしゃる算数の土地勘ですかあ」  
塾長「そうそう、全体の地図が見える」と自分の居場所がはっきりするで

しよ。近道を教えてもらつたら、次の問題の時にすぐ近道を教わろうとするけど、土地勘がある子は自分で探検しようとするんですよ。もしかしたら、『真ん中の数は何でしょう?』という問題に、『二つある時はどうするんですか?』と質問するかもしれませんよ...  
『まわりみち』たまらなくすてきでしよ

①	8	5	1	0
②	8	5	0	1
③	8	1	5	0
④	8	1	0	5
⑤	8	0	5	1
⑥	8	0	1	5
⑦	5	8	1	0
⑧	5	8	0	1
⑨	5	1	8	0
⑩	5	1	0	8
⑪	5	0	8	1
⑫	5	0	1	8
⑬	1	8	5	0
⑭	1	8	0	5
⑮	1	5	8	0
⑯	1	5	0	8
⑰	1	0	8	5
⑱	1	0	5	8
⑲	0	8	5	1
⑳	0	8	1	5
㉑	0	5	8	1
㉒	0	5	1	8
㉓	0	1	8	5
㉔	0	1	5	8



# 活ママの 教えてください？

—算数編—



## 全部書き上げる

活ママ「先生、まわりみちって、具体的にはどんなことですか？」  
塾長「具体的に。はいはい。いっぱいありますよ。」  
活ママ「えっ？今度はおめんなさいから始まらないんですねえ。」  
塾長「はい。活塾ではまわり道だらけですから…」  
「算数ラボにある問題です。『0、1、5、8、の数字のカードが1枚ずつあります。この4枚のカードを全部並べて数をつくりまます。(1)一番大きい数は何ですか。(2)二番目に大きい数は何ですか。』という問題です。むずかしいというほどの問題ではありませんが、正答率は(1)がほぼ100%、(2)は半分の50%というところなんです。この手の問題は小学校五年生の教科書に登場します。」

活塾の二年生も

(1)は 8510 と正解しましたが、

(2)は 5810 と答えていました。

仕方を教えてしまえば正解にはすぐたどり着きますが、まだ二年生です。たっぷり時間をかけられます。そこで、全部試すという六年生の順列の作業に誘いかけてました。(次ページ)



←開演のお囃子が終わり、主催  
松江市立中央図書館吉田館長の  
ごあいさつ



←続いて川上塾長のごあいさつ



ぎ、蓋を開けてみると、開演と同時に続々とお客様が入って来られ、定員の50名を超えて、念のために置い

た70席が埋まった。高座を囲んでぎゅっと詰まっているのが寄席のベストなので、最高の環境を用意してもらったことになる。



子どもたちそれぞれ渾身の一席をやりとげて、お客様のお見送りもすみ、余韻



冷めやらぬ中で始まった落書き。よく見ると、ネコや顔やらに混じって「活塾亭…」とていねいに書かれた高座名が連なっている。四月の寄席では、みんなのサインを色紙に書き、抽選でプレゼントした。ああそうか、サイン書きたかったのか。いつの間にか自分の高座名に誇り持ったんだね、あなたたちは。